

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都・下京区室町通ホテル	階数	地上5F
建設地	京都市下京区室町通高辻上る山王町551番地	構造	RC造
用途地域	商業地域, 準防火地域	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月 予定	評価の実施日	2017年6月21日
敷地面積	612 m ²	作成者	蔵原 佳代子
建築面積	489 m ²	確認日	2017年6月21日
延床面積	2,416 m ²	確認者	園田 亜依



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ★★★★★

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項

総合		その他
現在京都は席の観光都市です。近年では宿泊施設が不足している為計画地近辺ではホテル建設が増加している状況です。その為交通量も多い道路に面するので遮音対策に配慮し、快適性に重視した設計とした。		
Q1 室内環境 居室の窓を大きくし通風、採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。 居室のサッシは断熱性能の向上を図り、遮音等級T-2以上を採用した。	Q2 サービス性能 将来の更新を想定し、全室ビニル吹付を採用。	Q3 室外環境 (敷地内) 外壁の影度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る。
LR1 エネルギー 日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるよう、計画した。	LR2 資源・マテリアル 限る資源を有効に利用する。ハロン消化剤を使用しない。	LR3 敷地外環境 緑地を計画し、温熱環境に配慮した。 隣地に対する影響とゴミの散乱を防ぐよう扉付の既製品を採用した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される